

約80年間の大気電場の変化 Changes in atmospheric electricity over about eighty years

平原 秀行^{1*}; 源 泰拓¹
HIRAHARA, Hideyuki^{1*}; MINAMOTO, Yasuhiro¹

¹ 気象庁地磁気観測所
¹ Kakioka Magnetic Observatory

気象庁は、茨城県石岡市の地磁気観測所において1929年から水滴集電器による大気電場観測を継続している。この観測は、開始から現在まで同一の測器で連続して行われているものである。地磁気観測所における気象観測は1997年に中止されており、それ以降は大気電場の観測データと降水の有無によって大気電場静穏日が判別されている。本研究では、気象衛星「ひまわり」による雲格子点情報と、地磁気観測所で撮影した全天写真を比較して晴天時を抽出し、大気電場の静穏日曲線を導いた。さらに、1931年から1935年の大気電場の静穏日曲線と比較することによって、約80年間の大気電場の変化について議論する。

キーワード: 大気電場, 静穏日曲線, 晴天時, 水滴集電器, 雲格子点情報
Keywords: atmospheric electricity, diurnal variation, fair weather, water dropper, cloud grid information